

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	2.「二宮ブランド」の開発と活性化
分野別方針	(5)特産品の普及と二宮ブランドとの連携
実施計画事業	特産物普及奨励事業(No.54)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	特産物普及奨励事業(農業再生事業)	77.2%	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリーブの栽培普及が計画本数(300本)に未到達</li> <li>・オリーブ栽培農家の技術の向上、確立</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	オリーブ栽培の拡大を図るため、苗木の購入助成を実施したものの、普及予定本数の約1/2に留まった。 しかしながら、苗木についてはDNA鑑定が行われているものへシフトし、今後の生育に期待できるものとなった。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	さらに遊休荒廃農地を中心にオリーブの栽培を拡大するよう、促進していく。 また、栽培技術の研究・確立を行うための検討組織を立ち上げ、実の収穫後の生産について検討していく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	農業再生事業の一環として、湘南オリーブのブランド化を目指し、栽培の拡大と推進組織の確立を図るうえで、事業継続は必要である。		